

令和2年度 横浜マイスターを選定

横浜市では、平成8年度から、市民の生活・文化に寄与する卓越した技能職者の方を「横浜マイスター」に選定する事業を行っています。

横浜マイスターは、学校や地域の行事などで広く技能の魅力伝えたり、後進を育成し貴重な技能を継承するための活動などを行っています。

このたび、横浜マイスター選考委員会（委員長：松留 慎一郎氏 職業能力開発総合大学校 名誉教授）における厳正な選考を経て、第25期となる令和2年度の横浜マイスターとして、新たに3名を選定しました。

これにより、事業開始以降、選定された横浜マイスターは、総勢64名となります。

○令和2年度選定(第25期) 横浜マイスター

(50音順)

職種	氏名	年齢	勤務先
陶磁器絵付師	おおき 大木 しのぶ さん	52歳	ルイポーセレン (青葉区美しが丘5-8-28)
造園	きのした とおる 木下 透 さん	62歳	有限会社 木下庭園管理 (戸塚区舞岡町3380-28)
建築大工	さえぐさ てつや 三枝 哲弥 さん	50歳	三枝工務店 (泉区新橋町1337 三枝荘201)

※プロフィール及び技・活動の紹介は裏面参照

【この5年間の選定状況】

年度	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成8年度～ 令和2年度累計
選定者数	2人	1人	1人	3人	3人	64人 (うち物故者17人)

陶磁器絵付師 大木 しのぶさん

<プロフィール>

短期大学卒業後、国の「卓越した技能者（現代の名工）」を受賞した佐分利利成氏のもとで修行した後、百貨店等で個展を開き、作品を販売するかわら、平成17年に絵付けサロン「ルイポーセレン」を設立し、代表に就任。

一般社団法人名古屋陶磁器会館のポタリーペインティング認定や、日本ヴォーグ社による有田焼上絵付け、染付け認定等を受けています。

<技・活動の紹介>

名古屋絵付けをはじめとする陶磁器絵付けの伝統技法による作品のほか、ペット肖像画の陶磁器絵付けの草分けとして、独自に確立した描法による、顧客のニーズや思いに寄り添った作品を制作しています。その際、作品の質感をより詳細に表現するため、伝統的な染色技法で使用する「ぼかし筆」を使用するなど、工夫を凝らしています。

また、一般の方から絵付けの講師を目指している方までを対象とした講習を行っており、後進の指導育成に熱心に取り組んでいます。



造園 木下 透さん

<プロフィール>

大学卒業後、造園会社で4年間勤務した後、平成元年に有限会社木下庭園管理を設立し、代表取締役就任。

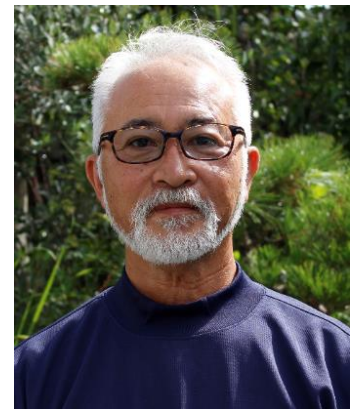
神奈川県技能競技大会2級造園表彰、神奈川県造園業協会技能功労者表彰、横浜市優秀技能者表彰、全国都市緑化よこはまフェア庭園出展コンテスト銀賞受賞。

<技・活動の紹介>

日本庭園の蹲踞つくばいや手水鉢かめの地下に瓶を埋め、落ちた水滴が空洞に反響して音を生み出す、日本独自の造園技法である「水琴窟すいきんくつ」において、瓶かめの底に泥を堆積させない仕組みを独自に開発するなど、貴重な技能を有しています。

また、自らの造園の作業工程を詳細部分まで何度でも確認できるよう動画で撮影し、YouTube や SNS などを活用して積極的に発信しています。

一般社団法人神奈川県造園業協会講習会等を行うなど、後進の指導育成に熱心に取り組んでいます。



建築大工 三枝 哲弥さん

<プロフィール>

高校卒業後、有限会社コマツで在来工法による建築大工の業務に携わり約10年間修行した後、平成15年に三枝工務店を設立し、代表に就任。横浜市優秀技能者表彰受賞。

<技・活動の紹介>

現在、木造住宅の施工方法は機械刻み（プレカット）が主流となる中で、三枝さんは、一から作成した墨差しを使って、墨付け、刻み、組み立てを手作業で行うことができ、とりわけ、梁や桁の継ぎ手として伝統的に用いられる「追っかけ大栓継ぎ」の技法に優れています。

また、建築大工の技能検定員として多くの審査に携わったかわら、「よこはま技能まつり」や「匠の小学校」等の技能職のイベントで建築大工の魅力を伝える活動にも力を入れています。



お問合せ先

経済局 雇用労働課長 卯都木 優子 TEL 045-671-2303

※本件は横浜経済記者クラブへも同時発表しています。